



令和2年度



英語教授法 (TEFL・TESOL) 取得支援事業

事業概要

CLAIR では、JET プログラム参加者に対し、オンラインで英語教育のスキルを磨くための英語教授法 (TEFL/TESOL) 取得助成金を提供しています。今年度も募集を行いますので、以下の内容をよく読んで応募してください。

事業目的：JET プログラム参加者の英語教育技術を向上させ、任用団体が求める英語教育の質の向上につなげる。

対象条件：以下の条件を満たす JET 参加者が対象となります。

- ① 現役 JET 参加者であること。
- ② 再任用予定者であること (令和2年夏来日者は対象となりません)。
- ③ TEFL/TESOL の資格を持っていないこと。
- ④ 助成対象者の決定通知の前に TEFL/TESOL コースの受講を開始していないこと。

※ **対象コース：**コースは下記の条件を満たす必要があります。

- ・コース修了まで 100 時間以上を要する講座であること。
- ・すべての内容がオンラインで提供されるオンライン講座であること。
- ・助成決定通知を**受け取ってから**受講開始し、令和3年2月19日 (金) までに終了すること。

※ 助成決定通知を受け取る前に始めた講座は対象となりませんのでご注意ください。

助成金額：最大 15,000 円

助成対象者数：200 人

重要事項

- ・ほとんどのオンライン TEFL/TESOL コースは1年間で修了することになっていきます。しかし、この助成金を受け取るためにはそれより短い期間で修了しなければなりません。
- ・TEFL/TESOL 資格取得に向けた取組みは、勤務評定の参考となることがあります。任用団体の担当者と学習計画について相談し、講座を修了した場合は報告すると良いでしょう。
- ・CLAIR から助成決定通知を受けてから、申請書と違うコースを受講することはできません。決定通知を待っている間に受講料が変わったとしても、クリアにお知らせする必要はありません。



令和2年度



英語教授法 (TEFL・TESOL) 取得支援事業

申込方法とスケジュール

- ・ 助成申請書は、JET プログラムのホームページからダウンロードできます。
(<http://jetprogramme.org/ja/tefl/>)
- ・ 助成を希望する方は、助成申請書(様式1)に必要な事項を記入の上、申請書に記載してあるとおり、直接 CLAIR (gyomu@clair.or.jp) にメールで送ってください。

締切：令和2年5月29日(金) 必着

スケジュール

令和2年5月29日(金)	助成申請者から CLAIR への提出期限
令和2年6月下旬	CLAIR から助成申請者への助成決定通知の送付 助成決定通知を受領後各自でコースの申込・支払い・受講を開始
令和2年12月末～ 令和3年2月初旬	コース修了(目安)
令和3年2月19日(金)	必要書類の CLAIR への提出期限(郵送)
随時(令和3年3月まで)	終了した助成者の口座への助成金支払い (支払いは4～6週間かかります。)

重要事項

- ・ 申請書と必要書類の提出は期限厳守です。遅れた場合は受け付けません。TEFL/TESOL 講座提供者から修了証明書がもらえるまで時間がかかる場合もあるので、提出締切までに CLAIR に必要書類を発送できるよう、十分に時間の余裕を持って学習を始めてください。
- ・ コース修了後は必要書類を CLAIR に直接郵送で提出してください。必要書類は TEFL/TESOL 講座修了報告書(様式2)、講座提供者からの講座修了証、受講料の領収書(申請者の名前、支払った金額、支払った日にちが分かるもの)、振込先の通帳(該当する場合はキャッシュカード)の写しです。決定通知の添付は不要です。
- ・ TEFL/TESOL 取得支援事業に関する質問は、CLAIR へメール(gyomu@clair.or.jp)でお問い合わせください。



令和 2 年度



英語教授法 (TEFL・TESOL) 取得支援事業

Q & A

1. TEFL/TESOL 講座の選択

1.1 コースを選ぶ時に考慮すべきことがありますか。

→ はい、修了証明書の発行までの期間・支払い方法・オンライン個人指導の有無・オプション・教材へのアクセスの有効期間など、各講座の特徴をよく読み、自分に合ったコースを選択してください。特に考慮してもらいたいことは次の2点です。

●コースにより、クレジット・カード、PayPal オンライン決済サービス、銀行振込など支払い方法が違います。講座料金の支払い方法が自分に可能なものであるかどうかを必ず確認してください。

●オンラインコースはほとんどが1年間有効ですが、CLAIR から助成金をもらうためには、CLAIR が指定した締切までにコースの修了証明書を提出する必要があります。そのため、締切までにコースを修了し、TEFL/TESOL 講座提供者から修了証明書を発行してもらえよう、TEFL/TESOL 取得支援承認の通知を受けたら、早めにコースを始めてください。

1.2 120 時間のコースでも大丈夫ですか。

→ はい、助成対象講座は、TEFL/TESOL オンラインコースにより開講され、総受講時間が 100 時間以上の講座とするので大丈夫です。総受講時間の上限はありませんが、修了報告書の提出期限までにコースを修了させる必要があるのでご注意ください。

1.3 週末に授業を行っている TEFL/TESOL コースでも CLAIR の助成の対象になりますか。

→ いいえ、助成対象としているコースは、オンラインで受講できるコースのみです。

2. 申請について

2.1 TEFL/TESOL のコースはすでに始まっていますが、助成金を申請できますか。



令和2年度



英語教授法（TEFL・TESOL）取得支援事業

→ いいえ、予算の関係上、「対象コース」に書いてあるように、決定通知を受け取る前に始めた講座は対象外となります。従って、CLAIR から6月中旬に送付する決定通知を受け取る前にコースを受け始める JET 参加者は、助成金を申請することができません。

2.2 すでに TEFL/TESOL を取得した JET 参加者は申し込みできますか。

→ いいえ、すでに TEFL/TESOL 資格を取得した JET 参加者は申請できません。

2.3 CIR は TEFL/TESOL 支援事業に応募できますか。

→ はい、応募できます。この助成事業は ALT のみを対象にしたものではなく、応募条件を満たせば、CIR も SEA も応募できます。

2.4 助成金を申請するには、任用団体の担当者の許可が必要ですか。

→ いいえ、助成金を申請するには、任用団体の担当者の許可は不要です。しかし、英語教授法向上に向けた取組みは勤務評定をするにあたっての参考となることがありますので、任用団体の担当者に受講の予定やコースの修了を知らせると良いかもしれません。

3. 支払について

3.1 助成額は日本円となっていますが、受講したい講座では、日本円での支払いは不可能です。クレジットカードで母国の通貨（例：USD、CAD、GBP 等）で支払った場合、助成対象となりますか。

→ はい、外国の通貨で支払っても助成対象となり得ます。外国の通貨で受講を支払った際、当該年度の当初予算編成時に用いられた外国貨幣換算率の円換算により1万5千円を超えた場合の助成額は満額となります。しかし、円換算した金額が1万5千円に及ばない場合、助成額は相当する日本円の金額となります。

3.2 友人または家族のクレジットカードで受講料を負担してもらおうと考えています。この場合、助成金申請は可能ですか。



令和2年度



英語教授法（TEFL・TESOL）取得支援事業

→ いいえ、他の対象条件を満たしたとしても、JET参加者本人が受講料を負担していない場合は対象外になります。多くの申請者は外国のクレジットカードで受講料を支払っており、日本のクレジットカードで受講料を支払わないといけない条件はありません。また、外国の通貨で受講料を支払っても、助成金は日本円で申請者の日本国内にある銀行口座にしか振り込まれません。

3.3 クレジットカードで受講料を支払った際、払込証明書として何を提出すれば良いですか。

→ クレジットカードで支払った際、プリントアウトした領収書、または明細書を送付して下さい。領収書、または明細書には、支払った金額、支払日、支払者の氏名が表示されていないといけません。他の個人情報に記載されている場合、事前に黒いマーカーなどで消しておいて下さい。

4. 書類提出

4.1 事業概要と講座修了報告書では、通帳の写しが必要書類の一つとなっていますが、金融機関は通帳を発行しておらず、キャッシュカードしかありません。どうしたら良いでしょうか。

→ 名義と銀行口座番号が掲載されているキャッシュカードの表の写しを提出してください。キャッシュカードの裏の写しを提出する必要はありません。